

各位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル バ ッ ク
 代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 久 三
 (コード番号:6728 東証一部)
 問 合 せ 先 常務取締役経営企画室長 常 見 佳 弘
 (TEL. 0467-89-2033 大代表)

米国ライトレックス社の完全子会社化について

当社は、英国ケンブリッジ・ディスプレイ・テクノロジー社^(注1)(以下 CDT 社)が有していた、米国インクジェット装置メーカーであるライトレックス社^(注2)(現:当社の連結子会社 以下 Litrex 社)の株式 50%を取得し、当社 100%子会社といたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1.取得の経緯

当社は、平成 15 年に当時 Litrex 社の株式 100%を保有する CDT 社から、その株式の 50%を取得し、以降現在にいたるまでの 2 年間、Litrex 社は 2 社による共同経営体制となっておりました。今回当社が CDT 社より残り 50%の Litrex 社株式を追加取得し、Litrex 社を完全子会社化しました。

Litrex 社は、ポリマー有機 EL やディスプレイ業界向けに、高精度な工業用インクジェット装置を開発、販売しております。Litrex 社設立当時は、CDT 社が有するポリマー型フルカラー有機 EL パネル製造技術を具現化するため、インクジェット装置の開発を優先的に進め、現在までに世界各国に納入実績を重ねてきました。しかしながら、最近液晶ディスプレイ業界においても、液晶ディスプレイパネル製造に必要な PI(液晶配向膜)やスパーサーなどの工程に大型インクジェット装置を採用し、生産効率・生産環境の改善を行うことに大きな期待が集まっております。更に、当社が独自に開発したナノメタルインクとインクジェット装置の組み合わせにより、金属膜の直接配線への応用など様々な分野への展開を視野に入れた装置開発を行っています。

なお、Litrex 社は、当社が 100%株式取得後も、米国カリフォルニア州プリザントン市を拠点に、活動を継続します。また、特にポリマー有機 EL 用途インクジェット装置のビジネスにおいては、そのプロセス及び業界を熟知した CDT 社との連携を継続し、CDT 社主体でのマーケティング、販売体制にてビジネス拡大を図ります。

当社は、今回の Litrex 社完全子会社化を契機に、ポリマー有機 EL や液晶ディスプレイ分野に限定することなく、インクジェット装置の応用が期待できる様々な分野にて、独自性をもった装置の積極的な開発、販売活動を開始します。

2.今後の見通し

当期(平成 18 年 6 月期)の単体及び連結業績予想に与える影響は軽微であります。

(注1) CDT社

CDT社は、情報管理、通信、エンターテイメントなどの幅広い分野で用いられる電子ディスプレイに用いられるLEP(Light Emitting Polymers:高分子有機EL)技術を独自に開発しております。高分子有機ELは有機ELの一種で非常に薄く電力効率が高い、電流により発光するデバイスです。高分子有機ELは液晶ディスプレイを含む他のフラットパネルディスプレイに比較して非常に優れた特長を持つ映像の提供が可能です。また、印刷技術を用いて製造できる優位点をもっています。平成4年に設立し、本拠地は英国ケンブリッジに有り、"OLED"の標記で米国ナスダックへ上場している民間企業です。

(注2) Litrex(ライトレックス)社

Litrex社は、モノカラー高分子有機ELデバイスを生産している大手会社から、高分子有機ELのフルカラー化に不可欠なインクジェット装置開発を依頼された事がきっかけとなり設立されました。それまで米国カリフォルニア州にあるGretag Professional Imaging社のひとつの開発部門で開発従事していたメンバーが独立し、平成12年2月にLitrex Corporationとして発足。同年12月CDT社の子会社となり、平成15年に当社が50%の株式を取得し、現在にいたっています。

(装置外観)



研究開発用 Litrex 120L



生産用 Litrex M700

以上